**第７回INAF研究会のご案内**

**The 7thINAF Workshop**

**主題：東アジアの国境地域から考える**

**―実態と理論の往復活動から―**

**一般社団法人・東北亜未来構想研究所**

**Institute for North-east Asian Future(INAF)**

2022.5.28

**日時：6月4日（土）時間：17:00～19:00　 （オンライン：zoom**）

【研究会の趣旨】：EUやASEANの研究に見られるように、広義の地域主義（regionalism）の研究は、国際的な地域に共通の利益やアイデンティティを見出して地域秩序を形成しようとする国家間グループの研究である。しかし今日では、国家の一部が国境を超えて隣接する他国の一部と生活圏を形成したり、国境地域のさまざまな交流・協力活動が展開されている実態も見られるようになった。こうした地域を下位地域（sub-region）、マイクロ地域（micro-region）、越境地域協力（Cross-Border Cooperation=CBC）と呼び、現地の実態調査に基づいた研究が行われるようになった。こうした実態調査を続けながら、下位地域の形成のプロセスと意義について研究している二人の研究者から話題提供をお願いした。実態を理論化（モデル化）する手法に焦点を当て、参加者のみなさんとともに、新しい地域主義（neo-regionalism）について考えてみたいと思う。

**ファシリテーター：**佐渡友 哲（日本大学）

話題提供：実態をモデル化する経験から

報告①：中山賢司（創価大学）（20分）

日韓海峡境域と沖縄台湾境域の越境地域協力―漂流物対策越境地域協力の比較考察―

報告②：横田将志（八戸学院大学）（20分）

地域研究におけるスケールとレベルを用いたモデル化の試み―メコンと北東アジアを事例として―

パネルトーク：3人による意見交換（20分）／ 参加者との質疑・対話・意見交換

Zoom　URL: 李　鋼哲（LI　Kotetsu）のパーソナルミーティングルーム

<https://hokuriku-u-ac-jp.zoom.us/j/3603001872?pwd=cTJIbE1kUElNeVZsUXE0S3R6R3gwdz09>

ミーティングID: 360 300 1872　　　　パスコード: 1A9XFj　（10分前に開きます）

参加費無料。　　INAF　HP：<http://inaf.or.jp/>

INAFメンバーではない方は前日までに参加申し込み（名前、所属、連絡先メールアド）を下記のメールアドまでに送ってください。E-mail: office@inaf.or.jp